

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計			事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名			動物愛護啓発事業		事業番号	
					011-240	
担当部署名			健康福祉 局 保健所		部 動物指導センター 課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
		無	現状値	—	目標値	—	

事業の概要

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 14 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	動物の愛護及び管理に関する法律 大阪府動物の愛護及び管理に関する条例 堺市動物の愛護及び管理に関する条例		
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民	対象数	単位
		堺市内動物取扱業者	823,731	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	動物の愛護及び管理に関する法律・大阪府動物の愛護及び管理に関する条例・堺市動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、飼育者を含む市民及び動物取扱業者を対象として、適正飼養に関する指導や啓発を行い、人と動物の共生できる社会の構築を目指す。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ○飼い犬・飼い猫の引取り ○所有者不明の犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容 ○犬猫譲渡登録制度と収容犬猫の譲渡 ○動物の適正飼養の普及・啓発 ・飼育動物の苦情対応 ・猫の適正飼養講習会 ○地域猫活動への支援 (8,000円/頭、15頭/団体) ○動物取扱業の登録・届出及び特定動物の飼養・保管許可 		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	補助金：猫不妊手術実施の飼い主及び地域猫活動団体		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 犬猫返還譲渡率	%	目標値	36	38	40		46
		実績値	29	24			
		達成率	81%	63%			
		当該指標を選定した理由	返還及び譲渡を行うことで、殺処分削減につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法	(収容犬猫返還頭数 + 収容犬猫譲渡頭数) / 収容犬猫頭数 × 100 + 2						
12 犬猫譲渡希望者数	人	目標値	86	90	105		
		実績値	100	69			
		達成率	116%	77%			
		当該指標を選定した理由	収容された犬猫の譲渡を推進するため、事前登録された飼育希望者数				
目標値の設定根拠・算出方法	譲渡を推進するため、前年希望者数実績の1.5倍						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	動物愛護啓発事業	事業番号	011-240
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費 (a)	4,658	8,589	7,805	12,798	8,767
財源内訳	国支出金					0
	府支出金	206	203	200	202	200
	市債					0
	その他 (寄附金、繰入金等)		4,549	5,429	11,211	7,100
	受益者負担金(使用料、手数料等)	225	232	220	354	255
	一般財源	4,227	3,605	1,956	1,031	1,212
14	人件費 (b)	49,140	49,720	49,720	49,720	49,720
15	年間経費(c)=(a)+(b)	53,798	58,309	57,525	62,518	58,487

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	消耗品費	R3	決算	1,324	85	講習会費 (会場等借上料、謝礼金)	R3	決算	11	11
		R4	予算	1,080	150		R4	予算	41	41
	地域猫活動を支援するための避妊去勢手術助成金	R3	決算	1,389	278	基金積立金	R3	決算	8,961	0
		R4	予算	2,240	660		R4	予算	4,000	0
	通信運搬費	R3	決算	301	301	モバイルワーク端末リース代 (賃借料)	R3	決算	71	71
		R4	予算	364	109		R4	予算	0	0
	収容動物治療費、避妊去勢手術費 (手数料)	R3	決算	161	0	印刷製本費	R3	決算	17	17
		R4	予算	576	86		R4	予算	25	25
ふるさと納税返礼品作成委託料	R3	決算	295	0	その他 (旅費、使用料等)	R3	決算	268	268	
	R4	予算	300	0		R4	予算	141	141	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度	
		①	犬猫譲渡数	頭
②	上記①にかかる年間経費	千円	2,219	1,539
③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	36,983	54,964
備考 (算出についての説明等)				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 市内飼い主から引き取った犬猫の検査や治療及び馴化 (じゅんか) に時間を要するケースが多く、またコロナ禍の影響で譲渡希望登録者が減り、犬猫譲渡数は半数以下に落ち込んだ。動物愛護フードバンク (エサ等の寄附) による事業成果 (消耗品費の削減) があり、犬猫の飼養に係る年間経費を下げることができた。市で収容される犬猫は問題のある個体が増加しており、譲渡までの期間が長引く傾向にあるが、動物愛護フードバンクの活用及びふるさと納税による堺市動物愛護基金により事業の財源確保に努めている。基金への積立金 (891万) が増加したため事業費は増えたが、事業全体として費用対効果は適正であったと考える。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 飼い主への終生飼育を含む適正飼養の意識は広がりつつあるが、多頭飼育など不適正な飼育を原因とする飼育放棄が散見される。新型コロナウイルス感染症の影響により集合型の講習会や啓発機会が減っているが、Webによる講習会等を企画するなど啓発に努めた。多くの市民の方に譲渡希望登録してもらい、犬猫譲渡数を増やすことで、殺処分削減に努めるために、動物愛護の意識向上をさらに図りたい。また、ふるさと納税や動物愛護フードバンクを活用し、その財源確保に努めていきたい。